

古代中国
前漢 ~

前202年 高祖、漢王朝をたてる(前漢)
 新都・長安(秦の都・咸陽の近く)
 秦の制度の多くを受け継いだが、失敗を教訓とした
 ・郡国制...郡県制と封建制を併用
 ・諸侯権力の削減を図る
 → 呉楚七国の乱(前154年) 征伐
 → 鎮圧後、郡県制と変らばい、中央集権体制に

匈奴の冒険軍に破れる。
 公主(皇族の娘)を毎年単于(匈奴の王)に
 送る。貢ぎ物と引き換えに、互恵的
 条件で和平

前2c後半 武帝の治世 全盛期
 大規模な対外戦争の時代
 ・ 郷亭里遂を実施
 (北) 匈奴を撃退、領土を広げ、工地を開拓 行青の 霍去病
 (西) タリム盆地のオアシス沿着都市まで西進 4郡設置 郭弘皇都
 ・ 匈奴を撃つため、西域に張騫を派遣してシルクロードを
 大月氏と同盟しようと 烏孫とも、 大宛にも遠征 汗血馬が盗られた。
 (東北) 後漢の朝鮮を征服し、朝鮮半島北部に 楽浪 4郡設置
 (南) 南越を征服し、バトナム北部まで西進下に。
 領土拡大が財政難に 五銖錢(銅貨)発行
 ・ 塩・鉄、酒の専売
 ・ 均輸... 生産物を貢納させ、その物資が不足している地域に転送する物価調整法
 ・ 平準... 物資が豊富になると貯蔵、物価が安かるときに物価を平準する
 → 失敗
 武帝の死後 財政立て直しで政府の統制が弱
 宦官... 後宮に仕える云々された男性 → 実権を握ろうと争う。
 外戚... 皇后の親族 → 外戚の宦官の専横

<漢代の社会と文化>

理想 皇帝 → 官僚 → 農民
 直接統治

現実 豪族 → 農民... 飢饉も重税、徭役も増え
 工地を買収、没落農民を奴隷・小作人として支配

郷亭里遂... 地方長官の権限、= 官吏登用法
 → 豪族の子弟が官吏として進出 後漢時代。

文化 漢代初め... 法家、道家
 ↓
 武帝の時代... 儒学が官学 = 董仲舒の提案
 五経を定める
 『易経』『書経』『詩経』『礼記』『春秋』
 ↓
 後漢 訓詁学が発展 由來から
 ... 経典の字句解釈が重なる
 製紙技術の発達 蔡倫(宦官)
 竹簡から紙へ、文字と隷書に統一。
 辞書もつくられる
 絹織物業の発達 仏教伝来

<秦・漢帝国と世界>
 皇帝統治... 官僚制と儒学
 → 20世紀初頭の清朝滅亡まで
 2000年間の中国の国家体制の基本に。

中国 → 外国
 インドを通じて西方に存在を知れる
 秦 → チャイ (英語)
 → シン (フランス語)
 「漢族」「漢字」 → 「漢」という王朝名が今でも
 中国文化を代表。

外国 → 中国
 ・ 前漢の張騫 後漢の班超 → 西域に派遣
 → 西方の情報が中国へ
 ローマ帝国(大秦)の存在を知る。
 2世紀中頃 ローマ皇帝(大秦王安敦)が
 使節を派遣、海路で日南郡に至る

・ 東洋の内部
 首長に国王の称号を与え、皇帝中心の
 秩序の中に位置付ける
 ex 漢の匈奴国王の金印 from 光武帝
 と侍人(日本人)

『史記』 by 司馬遷
 ... 太史公武帝期に作成/歴史を系記文体で叙述
 ↓
 本紀... 皇帝の事績
 列伝... 功臣の位記
 表... 年表
 地理志... 地理記述
 天官書... 天官記述
 礼書... 礼記記述
 律書... 律記述
 歴代帝王本紀... 皇帝の事績
 列伝... 功臣の位記
 表... 年表
 地理志... 地理記述
 天官書... 天官記述
 礼書... 礼記記述
 律書... 律記述

『漢書』 by 班固
 ... 以降、系記文体が中国の歴史書の基本形に。

8年 外戚の王莽、新をたてる 皇帝を廃位。
 実情に合わない急激な改革
 周代の制度を復活しようとした。
 ↓
 各地で反乱(赤眉の乱)

25年 劉秀、漢を復興(後漢) 都: 洛陽
 内政重視で再興 皇帝の政治、豪族の連合政権の性格
 門閥貴族
 豪族... 儒学と学官の官界に進出
 VS
 皇帝側近の宦官、外戚
 官界・学者に対する弾圧(党錮の禁)など
 党派争いが繰り返される。
 匈奴の分裂、圧縮期
 1世紀後半から西域へ進出
 班超 西域の国を次々降伏させ
 → 西域都護府の地位を築き
 ・ 甘英をローマに派遣 → 2世紀初頭
 オアシスの道が本格的に開かれた。

バトナムの徴納税からなる
 激しい民衆運動
 → 金匱

2世紀末 黄巾の乱 宗教結社太平道の指導者張角
 (184年)
 各地に軍事集団が割拠
 五斗米道(95の道教に由来)の反乱

220年 後漢、滅亡
 禅譲によって魏の文帝に譲る
 → 自動的に承継はしない認識でより後の高位の継承者を選ぶ。
 実際は茶番、奪取の争いがあった。